

2013年4月17日

規制改革会議 委員各位
厚生労働大臣 殿

東京都足立区で異議申立てを行った保護者グループ

保育の規制緩和に対する保護者の意見書

～安全・安心な子どもの保育環境が保証されるような議論をお願いします～

私たちは、東京都足立区で認可保育所の入所不承諾通知に対し、異議申立てを行った保護者のグループです。同じマンションに住む保護者が中心となり、24世帯が異議申立てを行いました。

両親ともにフルタイムでの就労でも認可保育所に入れず、子どもを育てながら働き続けていくという人生設計に大きな不安を抱えています。働いて税金を納めていても、認可保育所に入れず、その時の運次第で、子どもを預けられる場所が決まるという現状。社会福祉を享受出来るか否かが、保護者の努力ではどうにもならない不平等な現状に大きな憤りを感じています。

今回、規制改革会議にて、待機児童対策を進める為の検討を行っていただいていることに、感謝致しますが、単に統計の待機児童数を減らすことを私たちは望んでいません。私たちが望んでいるのは、子どもの成長していく安全・安心な環境水準を維持した上での施設整備です。私たちのグループは、この4月から復職する保護者が多く、現在保育所で慣らし保育をしている最中です。通常よりも短時間の保育時間でさえも、子ども同士の噛み付き等の思いもかけない怪我があります。保育士の先生方は限られた設備・人員で、心のこもった保育をし、子どもの安全に多大な配慮をして下さっていますが、認可保育所の保育士の配置基準、保育室の面積基準が緩和され、詰め込み保育が行われて、子どもの安全や健やかな育ちが保証されるのでしょうか。子どもや保育士のからだや心の余裕が失われ、事故や怪我が増えるような事態になりませんか。規制改革会議での議論は、子どもの安全や健やかな育ちという観点を軽視し、異議申立てを行った保護者の意向を取り違えていると感じます。

私たちの子どもが健やかに育ち、安心して働いていけるような議論をお願い致します。

以上